

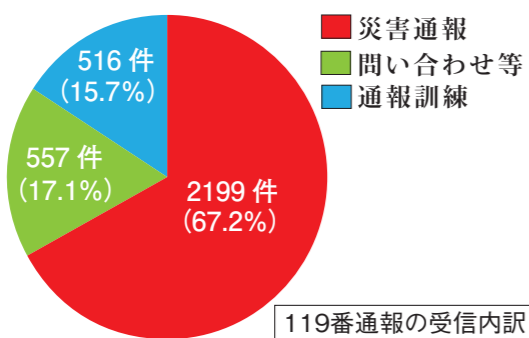
消防本部 (Tel.0772-62-0119) ホームページもご覧ください。

京丹後市消防本部 検索



尊い命を救った消防協力者の3人(前列)

で、一般負傷が398件(約16割)、交通事故が162件(約7割)でした。  
 救急車による搬送人員は、前年から116人減少して2321人で、そのうち65歳以上の高齢者が1596人で全体の約69割を占めました。  
 ドクターヘリと連携して活動した救急件数は113件(約5割)でした。  
 昨年は、市内の商業施設で突然倒れた男性に対し、応急手当を行い救命につながった事例がありました。いざという時のためにも、救命講習を受講しましょう。



**通信**  
 約2割が問い合わせ  
 119番の受信件数は、前年から181件減少して3272件で、そのうち、問い合わせなどの緊急性のないものが557件(約17割)でした。  
 火災、救助、救急要請は、各消防署の電話番号にかけると留守の場合や、場所の特定に時間がかかる場合があります。災害通報は、局番なしの「119」へお願います。

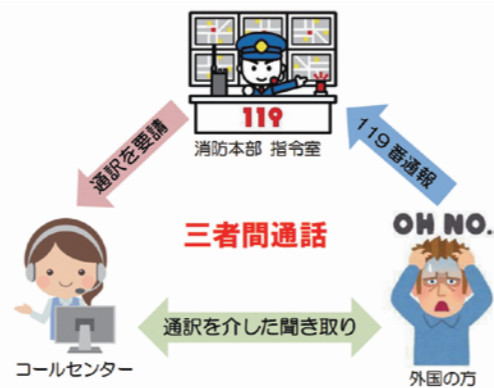
3,272件

**119番通報が多言語対応可能に!**

市内に居住・来訪する方からの外国語での119番通報に対応するため、通訳事業者との同時3者通話体制による「119番通報等に対する多言語対応(11言語)」を運用しています。

これにより、外国語での通報に対する確実な通報内容の聞き取りと迅速な対応が可能です。また、現場に到着した消防隊員からも通訳事業者に連絡できるため、災害現場での円滑な意思疎通も可能です。

このシステムは、京都府中北部の6消防本部で共同運用し、24時間365日対応しています。



**「消防団応援の店」募集中!**

地域防災の要である消防団を優遇サービスで応援する「消防団応援の店」に登録していただける事業者を募集しています。詳しくは市消防本部総務課 (Tel. 0772-62-8119) までお問い合わせください。



京丹後市消防本部 消防団応援 検索



消防の広場 119

火事・救急・救助

住宅用火災警報器  
 3月7日は作動確認の日です!

Vol.82

統計で見える京丹後の実態

令和元年(平成31年)中の火災、救助、救急など、消防に関する各種の統計調査結果をお知らせします。

避けられない自然災害、日頃からの準備と心掛けを!



消防長 上田 一郎

昨年は7月に京都市で発生した放火による火災、8月から10月に相次いだ台風や集中豪雨、10月の首里城火災など、全国でさまざまな災害が発生し、多くの尊い命と貴重な財産が失われました。幸い本市では、災害による大きな被害はありませんでしたが、改めて備えの重要性を認識しました。

今年は「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催され、本市はカヌー競技のスペインとポルトガル代表チームの合宿地に決定し、来年は「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」のカヌー競技が開催されます。選手をはじめ多くの観光客が訪れることから、救急対応や災害対応等、消防行政へのニーズは一層高まるものと考えています。市民をはじめ誰もが安心して過ごせる「安全なまち京丹後市」を目指し、消防職員、消防団員が一丸となって取り組んでまいります。

火災

16件

建物火災は市発足以降  
 最少の7件

火災件数は、前年から3件増加の16件で、種別ごとみると、建物火災が7件、車両火災が4件、その他火災が5件でした。  
 火災による死者は0人で、負傷者は4人でした。  
 火災の原因は「ストーブ」が3件、「排気管」「たき火」が各2件でした。

ストーブ火災を防ぐために

- ・給油時には火を消す
- ・近くで洗濯物を干さない
- ・燃えやすい物の近くで使わない
- ・つけたまま寝ない
- ・などを徹底しましょう。



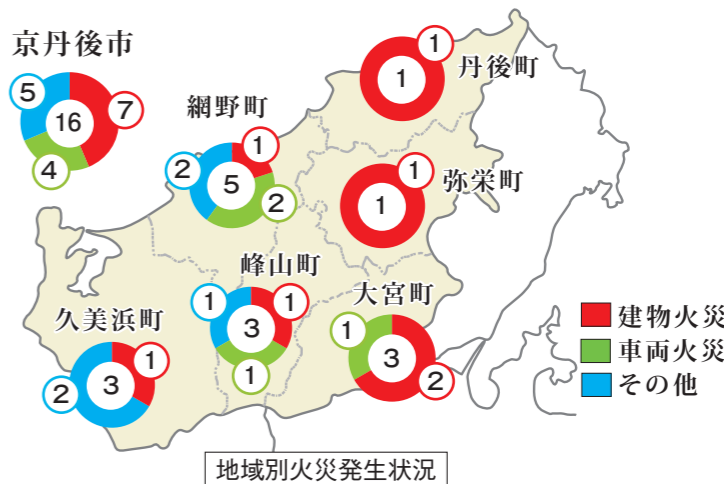
燃え上がるストーブ

救助

29件

約45割が交通事故

救助件数は前年から10件減少の29件で、種別ごとみると、交通事故が13件と最も多く、水難事故が3件、建物事故が2件、機械事故が1件でした。



救急

2,455件

出動件数は昨年より  
 112件減少

救急件数は、前年から112件減少の2455件で、種別ごとみると、急病が1627件で全体の約67割を占めていました。次の



土砂埋没救助訓練の様子

昨年は、自然災害による救助出動はありませんでしたが、消防本部では自然災害を想定した訓練にも取り組んでいます。日頃からの準備と早めの行動で、被害の発生や拡大を未然に防ぎましょう。